



平成 29 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 燦ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野呂 裕一  
(コード番号 9628 東証第一部)  
問合せ先 常務執行役員(IR 担当) 鈴江 敏一  
(TEL 06-6226-0038)

新たな事業の開始に関するお知らせ並びにポシブル医科学株式会社との  
フランチャイズチェーン加盟契約締結に関する基本合意のお知らせ

このたび当社は、昨年 4 月 6 日に公表しました中期経営計画における新規事業への取り組みの一環として、新たに介護事業を開始いたします。

本日開催の取締役会にて、当社子会社の「エクセル・サポート・サービス株式会社」が、リハビリ特化型デイサービスなどの介護事業を展開する JR 西日本グループの「ポシブル医科学株式会社」(本社：大阪府東大阪市)と、同社のフランチャイズチェーンへの加盟に関する基本合意書を締結し、「ポシブル」ブランドで事業運営を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

人生の希望や豊かさを感じられるシニアライフをサポートするために、新規事業として介護事業に参入いたします。後述のフランチャイズシステムのノウハウに、既存の経営資源を組み合わせ、有効活用し、本事業の拡大による新たな収益の柱の構築を目指します。

同時に、介護事業の持つ社会貢献性を重視し、単なる営利追求ではなく、相利共生の精神のもと、地域社会の一員としての自覚を持ち、地域社会への貢献を考えた事業運営を行います。

2. 新たな事業の概要

(1) 基本コンセプトとその背景

通所介護(デイサービス)の中でも、「リハビリ特化型デイサービス」は、一般的な預かり機能に特化したデイサービスにはない各種運動器具やリハビリ機器を導入し、理学療法士、看護師、生活相談員等の専門職を配置し、利用者の個別指導を重視した機能訓練プログラムを実施するサービスです。

近年、通所介護の事業所数が小規模型を中心に増加しています。ところが、機能訓練がほとんど行われていないなど、サービスの実態が重度化の防止や自立支援ではなく、利用者の居場所づくりにとどまっている場合、通所することで利用者の要介護度が重度化することがあります。

そうした中で、機能回復に効果的なサービスプログラムを提供するリハビリ特化型デイサービスに対する地域社会のニーズが高まっています。

(2) 当該事業を担当する部門

100%子会社の「エクセル・サポート・サービス株式会社」が、「ポシブル医科学株式会社」と、同社をフランチャイザーとするフランチャイズチェーン加盟契約を開設事業所ごとに個別に締結するとともに、社内に「事業推進室 介護事業課」を設け、同社の支援・指導を受けながら事業運営に当たります。

(3) 当該事業の開始における投資額

約 40 百万円 (注1, 注2) (主に改装費、什器備品費、研修費、採用費等)

(注1) 当初2事業所の合計金額 (注2) 事業所は賃貸借物件

3. フランチャイズ契約締結の相手先の概要

(1) 名称	ポシブル医科学株式会社 <a href="http://www.possible-plus.co.jp/">http://www.possible-plus.co.jp/</a>	
(2) 所在地	大阪府東大阪市御厨東2-1-6	
(3) 代表者	代表取締役社長 今川 正和	
(4) 事業内容	在宅介護事業・介護予防事業・フランチャイズ事業 他	
(5) 資本金	1億円	
(6) 設立年月日	平成11年2月12日	
(7) 大株主及び持株比率	西日本旅客鉄道株式会社 61.4% (平成28年1月31日現在)	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 今後の予定

フランチャイズ契約締結の相手先（フランチャイザー）と合意した優先出店エリア（大阪府北部地域および阪神地域）内で物件を確保し、平成29年10月～12月の間に、2事業所を開設する予定です。

なお、フランチャイズチェーン加盟契約は、事業所の物件が確定する都度締結します。

5. 今後の見通し

初年度（平成30年3月期）損益については、売上高7百万円、営業損益▲50百万円を見込んでおり、平成32年3月期に上記2事業所の黒字化を目指します。

3事業所目以降の開設については、当初2事業所の実績を検証した上で適切に判断します。

以上